

真庭市脱炭素社会に向けた市民会議 令和 7 年度 開催記録

日時：2025 年 10 月 3 日（金）14:00～17:00

場所：商業施設「プラムタウン真庭」（岡山県真庭市落合垂水 628）

参加人数：24 名

テーマ：脱炭素アクションを持ち寄って脱炭素社会を考えよう！

内容：

- ① 講演：真庭市より脱炭素社会に向けて（真庭市役所 地域エネルギー政策課）
- ② 講演：「真庭万博」について（一般社団法人コミュニティデザイン 代表理事 松尾氏）
- ③ 講演：真庭市に事業所のある企業から関西万博や脱炭素への取り組み紹介
 - ・株式会社共栄商事（プラムタウン事務長 木原氏）
 - ・銘建工業株式会社（総務人事部 上田氏）
 - ・大和リース株式会社（岡山デポ 資産管理グループ 沼本氏 、岡山デポ デポ長 東氏）
- ④ グループワーク
- ⑤ うちエコ診断の実施
- ⑥ 自分の脱炭素行動宣言

①講演：真庭市より脱炭素社会に向けて（真庭市役所 地域エネルギー政策課）

真庭市の脱炭素・SDGs に向けたこれまでの取り組みや 2024 年度までの脱炭素市民会議の内容を振り返り、今年度の市民会議の取り組みについて共有した。

また、2022 年度の市民会議からの提言を盛り込み策定された「真庭市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」のうち、目標達成のために 2030 年度までに実施する取組について、2025 年 3 月末時点での進捗報告があった。

②講演：「真庭万博」について（一般社団法人コミュニティデザイン 代表理事 松尾氏）

「真庭万博」とは、脱炭素社会実現に向けて市民一人一人の意識向上を目的として行われたイベントで、2025 年 9 月に 7 日間開催された。イベント会場では、脱炭素や関西万博に関わりのある企業のパネルの展示や、身近な脱炭素行動を知れる「エシカルカード」の配布、そして企業による様々な展示が行われた。

講演では、真庭万博の運営を行った松尾氏より真庭万博の開催趣旨や開催概要の説明がされた。

③講演：真庭市に事業所のある企業から関西万博や脱炭素への取り組み紹介

- ・株式会社共栄商事（プラムタウン事務長 木原氏）

真庭市落合にあるスーパー「プラムタウン真庭」で行われている脱炭素に関わる取り組みが紹介された。具体的には、店舗の屋根を活用して太陽光パネルを設置したり、氷蓄熱システムを最小して冷蔵ケースの省エネをしたり、ペットボトルや食品トレーの回収ボックスの設置による再資源化の取り組みなどがされており、店長の木原氏より丁寧な説明があった。

- ・銘建工業株式会社（総務人事部 上田氏）

銘建工業は真庭市に本社・工場をもち、集成材・CLT の製造を通して木造建築に関わる事業を行っている。木材そのものが大気中の CO₂ を貯留しているため、木造建築にするなど長く使うことで脱炭素社会に貢献できることの説明や、関西万博での「大屋根リング」や「日本政府館」に材料が使われていることの説明があった。

- ・大和リース株式会社（岡山デポ 資産管理グループ 沼本氏 、岡山デポ デポ長 東氏）

大和リース株式会社は大和ハウスグループの中核を担う企業の 1 つで、建築・土地活用・商業施設の開発・運営や車両リース・駐車場・都市緑化等の多彩な事業・サービスを行っている。講演では、岡山デポ・岡山工場の説明から始まり、大屋根リングの屋上スカイウォークの緑化の担当をしたこと、そして「ローソン店舗の建物建材の 9 割を再利用する取り組み」などが紹介された。

④グループワーク

i. 自己紹介

集まったらまずは自己紹介。毎回、市民会議でかなり盛り上がる時間。

ii. テーマ：「脱炭素行動を周りの人に広げるためには？」

今回の会議の核となる話し合い。グループごとに模造紙に出た意見を貼ってもらった。

iii. テーマ：「今後どのような市民会議を実施すると、脱炭素行動を広めることができるか？」

団結して活動しなければ脱炭素社会は実現できない。しかし、実際に今後どのようなテーマで実施すると脱炭素行動を広げられるのか？難しいテーマに挑戦した。こちらも、出た意見を模造紙に貼ってもらった。



ターゲット

- 子育て世代の人たち（子どもと一緒に）
- 中学生・高校生の参加
- 団塊の世代の人たち、アプローチが不可欠
- 学生の参加

場所

- 山や川など、脱炭素を現場で感じさせる
- 各地域で再開！
- （小さな単位で一箇所ずつでもOK）

内容

- 脱炭素
- 脱炭素運動会
- グレタさん
- 知名度のある環境活動家を呼ぶ！！
- ビジネスチャンス
- 参加するとバッジがもらえる
- お金で人は動くか？
- がんばっている人（団体）の紹介、表彰
- 食事、飲み物（最高級のもの、地産地消のこだわり食材）
- 料理教室（主婦・お父さん）
- ゲーム的な会議
- 脱炭素への取り組みをみじかに（脱炭素へのこだわりをお皿に表現）

行動

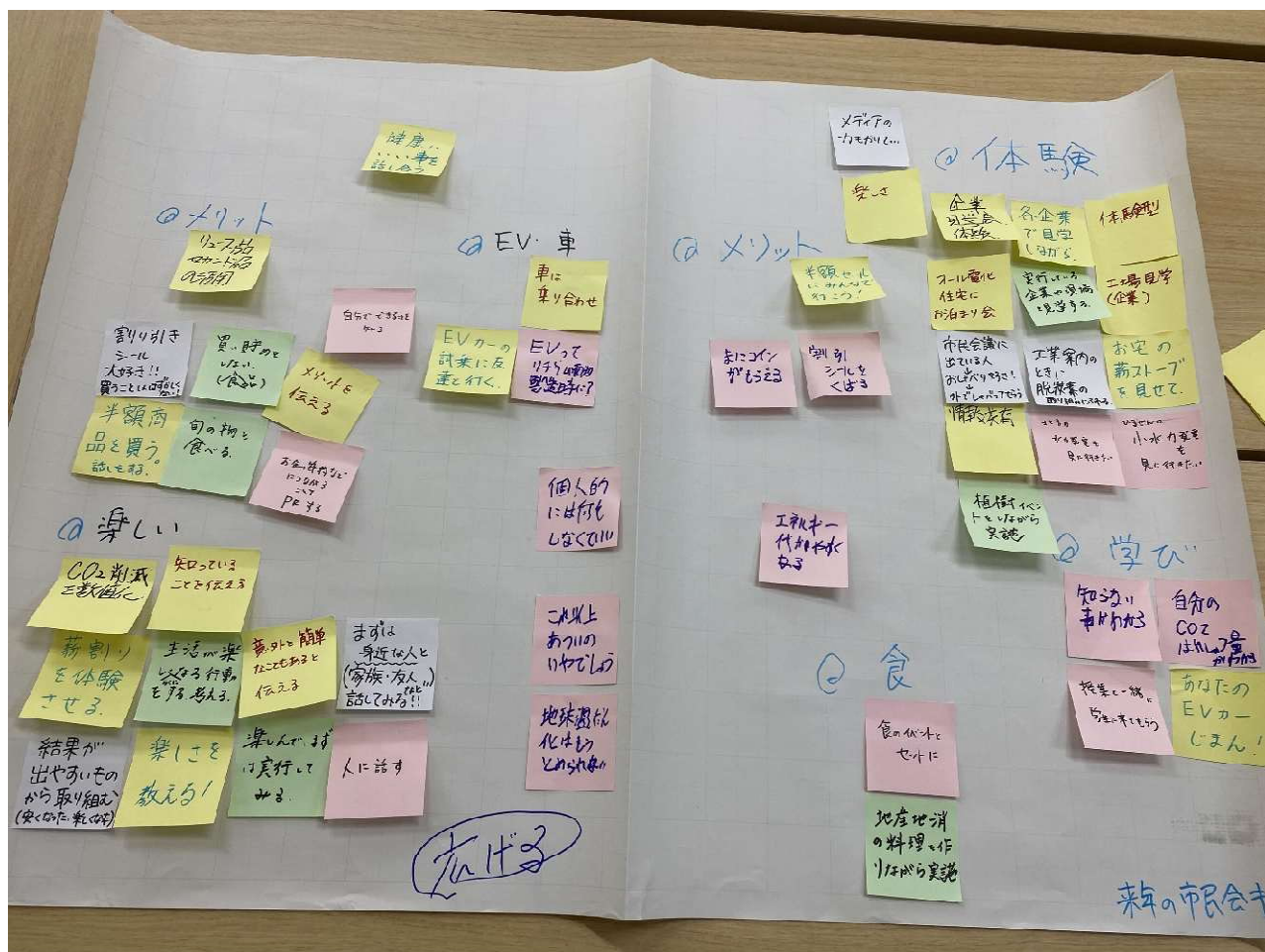
- 自転車で移動
- 地産地消のものを食す
- ゴミ分別の協力
- ボランティア活動
- 行動でする事を示す
- まわりの人を誘う
- 市民会議に知人を1人連れてくる

伝える方法

- まず自分が知る
- SNS発信
- 良い点、アピールする
- 暮らしのあらゆるところでつながっていることをあちこちで話す
- 効果・成果を見える化→やる気UP！

伝え方（切り口）

- お得
- カッコいい・便利
- 楽しい・楽しむ
- 脱炭素・観光
- もういいよ！！
- 簡単だよ
- 子どものために！！
- ヤバいよ！！
- 死にかけると急激に広がる



B グループ（出た意見は次ページ）

@メリット（左上）

- リユース品 セカンド品の活用
- 割引シール大好き!! 買うことにはずかしくない!
- 買い貯めをしない（食品）
- 半額商品を買う話をする
- 旬の物を食べる
- メリットを伝える
- 自分でできることを知る
- お金の節約などにつながることをPRする

@EV・車（中央上）

- 健康にいい話を話し合う
- 車は乗り合わせ
- EVカーの試乗に友達と行く
- EVってリチウム電池製造時に？

@楽しい（左下）

- CO2削減を数値化
- 知っていることを伝える
- 薪割り体験をさせる
- 生活が楽しくなる行動をする、考える
- 意外と簡単なこともあると伝える
- まずは身近な人と（家族・友人など）話してみる!!
- 結果が出やすいものから取り組む（安くなった、軽くなった等）
- 楽しさを教える!
- 楽しんで、まずは実行してみる
- 人に話す

枠外・その他（中央下）

- 個人的には何もしなくていい
- これ以上あついのはいやでしょう
- 地球温暖化はもうとめられない

@メリット（中央右）

- メディアの力をかりて...
- 楽しさ
- 半額セールにみんなで行こう!
- まにコインがもらえる
- 割引シールをくばる
- エネルギー代が安くなる

@体験（右上）

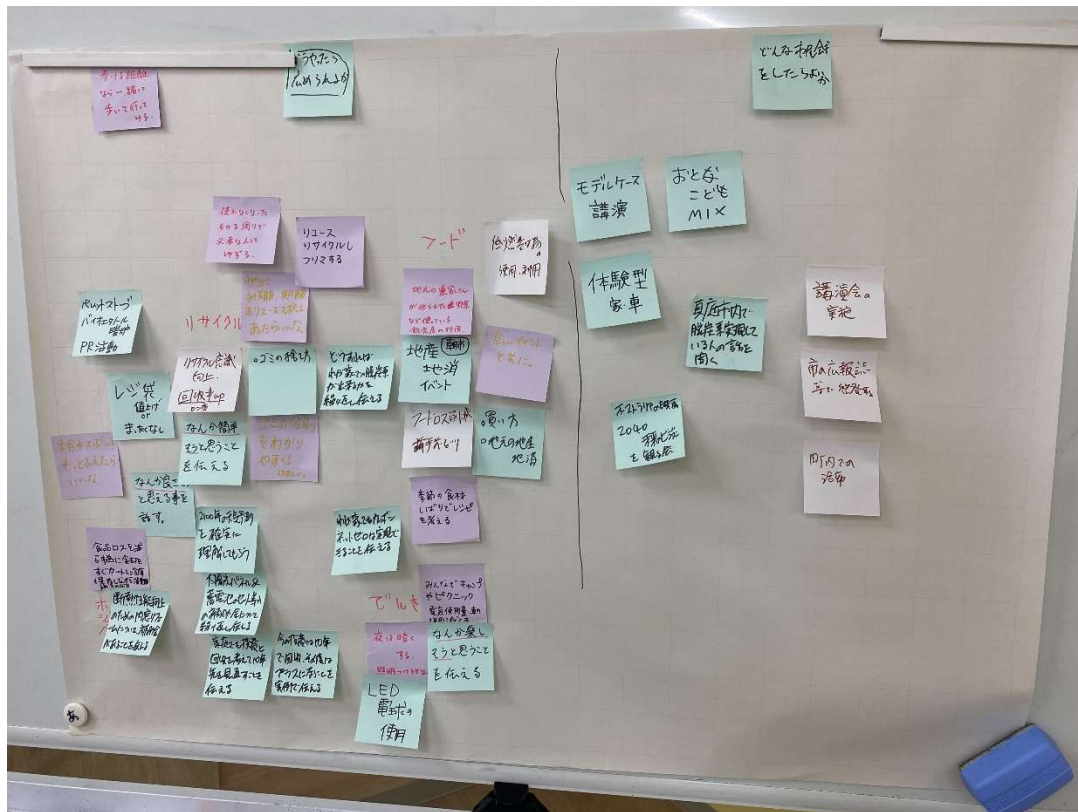
- 体験型
- 企業見学会体験
- 各企業で見学しながら
- 工場見学（企業）
- オール電化住宅にお泊まり会
- 実行している企業の現場を見学する
- 市民会議に出ている人おしゃべり好き! 外でしゃべってもらう
- 工業案内のときに脱炭素の取り組みにふれる
- お宅の薪ストーブを見せて
- 情報共有
- 北房の水力発電を見に行きたい
- ひるゼんの小水力発電を見に行きたい
- 植樹イベントをしながら実践

@学び（右下）

- 知らない事がわかる
- 自分のCO2はいしゅつ量がわかる
- 授業と一緒に学生に来てもらう
- あなたのEVカーじまん!

@食（右下中央）

- 食のイベントとセットに
- 地産地消の料理を作りながら実践



C グループ

リサイクル

- 使わなくなったものを周りで必要な人にゆずる
- リユース リサイクルしフリマする
- 市内に不用品、制服のリユーススポットがあったらいいな。
- リサイクル意識向上、回収率UP
- ゴミの捨て方
- レジ袋値上げ or まったくなし
- 給水スポットもっとふえたらいいな
- なんか簡単そうと思うことを伝える
- ゴミの分別をわかりやすく！
- なんか良さそうと思える事を話す。
- 2100年の未来予測を確実に理解してもらおう
- 太陽光パネル 蓄電池の仕組みをわかってもらってから設置・導入してもらう

フード (中央上)

- 地元の農家さんが作った野菜など使っている飲食店の利用。
- 地産 (真庭) 地消イベント
- 楽しいイベントと共に。
- フードロス削減、朝市など
- 買い方地元の地産地消
- 季節の食材しぼりでレシピを考える

でんき (中央下)

- 夜は暗くする、照明つけすぎない
- LED電球の使用
- みんなでキャンプやピクニック。電気使用量、車の使用減少に
- なんか楽しそうと思うことを伝える

その他・枠外

- 考える距離をなら一緒に歩いて行ってみる。
- どうすればわが家での脱炭素ができるかを繰り返し伝える
- わが家でもカーボンニュートラルゼロを実現できることを伝える
- 家庭でも投資と回収を考えて10年先を見通すことを伝える
- 今の設備は10年で回収、その後はプラスになることを事例で伝える
- モデルケース講演
- おとな こども MIX
- 体験型家電
- 真庭市内で脱炭素を実践している人の話を聞く
- オーストラリアの映画「2040 未来のビジョン」を観る会
- 講演会の実施
- 市の広報誌等で啓発
- 町内での配布

⑤うちエコ診断の実施 (<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/uchieco-shindan/>)

「うちエコ診断」とは、各家庭の年間エネルギー使用量や光熱水費などの情報をもとに、専用のソフトを使って、お住まいの気候やライフスタイルに合わせた省エネ、CO₂排出対策を提案するもの。

今回はそれにゲーム性を加えて、診断順位ごとに真庭万博で作成した「エシカルカード」が配布された。

↓配布されたエシカルカードの例↓



⑥自分の脱炭素行動宣言

参加者一人一人に自分が実施する脱炭素行動をひとつ画用紙に書いてもらった。

↓脱炭素行動宣言の例↓

